

- お買い上げいただき、誠にありがとうございます。施工前及びご使用の際に必ずこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後、施工完了後もカバーの裏側に収納して大切に保管しておいてください。
- 安全にお使いいただくために《必ずお読みください》次に示す注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

注意

- 濡れた手で作業はしないでください。感電、故障の原因となることがあります。
- 本機の施工には電気通信事業法により工事担任資格が必要ですので、無資格での工事はしないでください。感電、火災、故障の原因となることがあります。
- 本機を改造して使用しないでください。感電、火災、故障の原因となる場合があります。
- 本機に直接水がかかったり、埃が入ったり、日が当たったりしない場所に設置してください。感電、火災、故障の原因となる場合があります。
- 本機を通信回線の接続以外の用途には使用しないでください。感電、火災、故障の原因となる場合があります。
- 本機をベンジン、シンナー、アルコールなど薬品を用いて拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。変形や変色、故障の原因となる場合があります。
- 適用電線(導体径0.4~0.65mmの銅単線)以外は使用しないでください。燃り線は使用できません。故障の原因となる場合があります。

【施工】

■結線方法

- ①電線の被覆を12mmの長さに剥いてください。長さの確認はカバー上面のストリップゲージを使用してください。
 - ②被覆を剥いた(ストリップした)電線を端子へ押し込んでください。
 - 注1. 曲がった心線はまっすぐに伸ばしてから押し込んでください。
 - 注2. $\phi 0.4$ の電線をご使用の場合、心線の近くを持ってまっすぐに押し込んでください。
- 電線のはずしかた
- a. リリースボタンをマイナスイボライバーなどで押し下げてください。
 - b. リリースボタンを押し下げたまま電線を引き抜いてください。

【仕様】

項目	仕様	備考
系統数・分岐数	2系統・10分岐/1系統	
モジュラージャック	6種2心	RJ11
適用電線材径	$\phi 0.4$ 、 $\phi 0.5$ 、 $\phi 0.65$	単線
外形寸法	155(W)×55.4(H)×32.6(H)	
テレホンコード	6種2心(RJ11)、長さ1.5m	添付品(2本)
コンデンサ※1	複合CR 1個搭載/1系統	0.27 μ F、100k Ω

※1 WTJC-64STD 1500はコンデンサを搭載していません

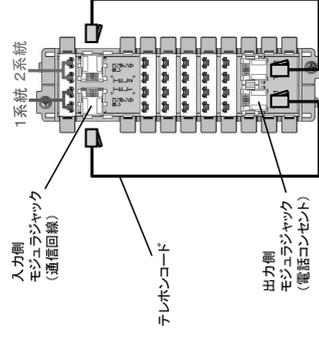
【施工に関するお問い合わせ】

株式会社 **渡辺製作所**
〒338-0835
埼玉県さいたま市桜区道場 709-1
TEL. 048-856-0858 (営業直通)
FAX. 048-856-0874

本製品の仕様及び外観は改良のため予告無く変更する場合がありますので、予めご了承ください。

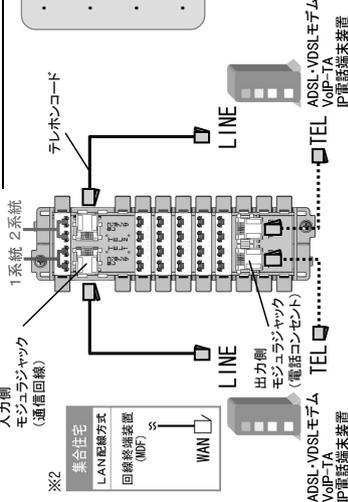
【接続例】 (図はWTJC-64STD 1500を示す)

電話回線の場合



- ・入力側のモジュラージャックと出力側のモジュラージャックをテレホンコードで接続します。
- ・電話回線の場合、電話機の増設は1回線に最大3台まで接続できます。
- ・アナログ機器は2台以上同時に使用することはできません。
- ・モジュラージャックへの接続は6種2心以外(6種4心、8種8心)のモジュラブラブは使用できません。

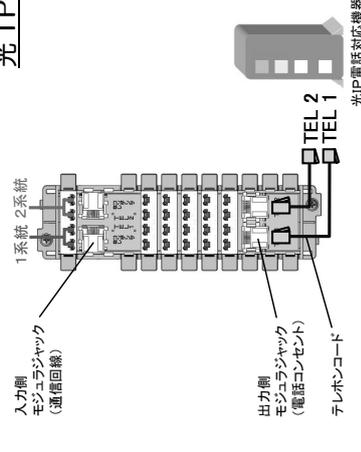
ADSL・VDSL IP 電話の場合



- ・入力側のモジュラージャックと、通信機器の「LINE」ポートをテレホンコードで接続します。
- ・出力側のモジュラージャックと、通信機器の「TEL」ポートをテレホンコードで接続します。
- ・通信サービスをご利用の際には、ご使用になる装置・機器などの取扱説明書をご確認の上、正しく接続してください。
- ・通信サービスにより接続できる電話機の台数は異なります。

※2 集合住宅向けLAN配線方式導入 配線例

光 IP 電話の場合



- ・出力側のモジュラージャックと、光 IP 電話対応機器の「TEL1」ポートをテレホンコードで接続します。
- ・ダブルチャネルご利用の場合には、2系統目の出力側モジュラージャックと、光 IP 電話対応機器の「TEL2」ポートをテレホンコードで接続します。
- ・光 IP 電話対応機器の取扱説明書をご確認の上、正しく接続してください。
- ・接続できる電話機の台数は光 IP 電話対応機器の取扱説明書をご確認ください。

電話・インターネットが接続できない時

接続される機器・装置のメーカーまたはサービス提供会社に問い合わせください。